PRESS RELEASE

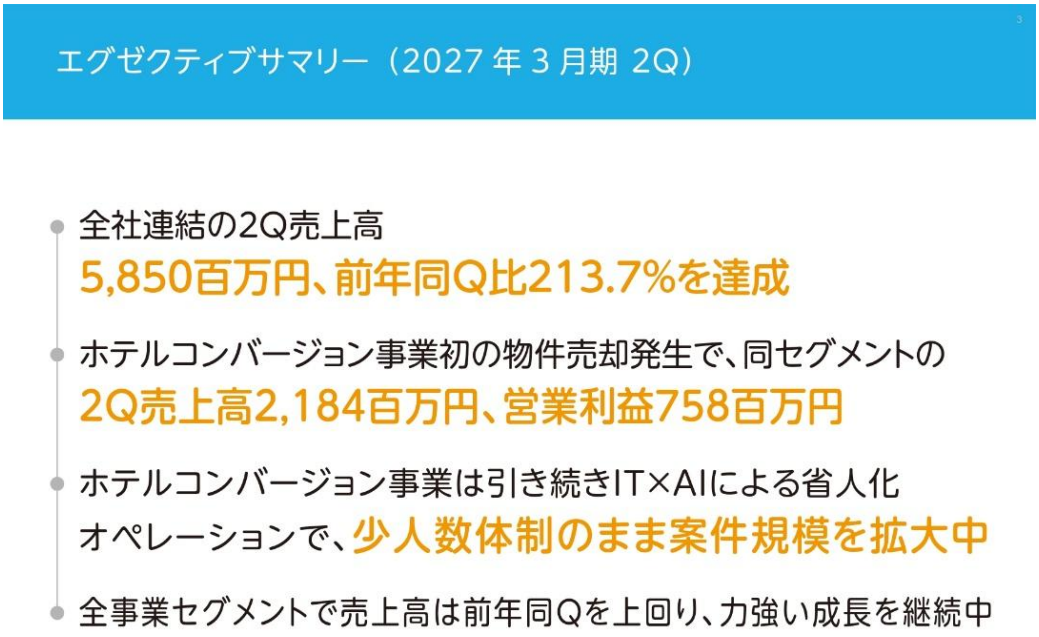
2026 年 11 月 13 日
クルーズ株式会社

クルーズ、2Q 売上高 5,850 百万円、前年同 Q 比 213.7%を達成。
ホテルコンバージョン事業初の物件売却で、同事業の上期営業利益は着地予想を上回る 792 百万円。

クルーズ株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：小渕 宏二、証券コード：2138、以下 当社）は、都心のビルを高付加価値なホテルへと生まれ変わらせる「ホテルコンバージョン事業」を主力としています。当社は、2026 年 11 月 11 日、2027 年 3 月期（第 26 期）第 2 四半期決算を発表しました。主力のホテルコンバージョン事業で初の物件売却が発生し、全社連結の 2Q 売上高は 5,850 百万円（前年同 Q 比 213.7%）となりました。2Q 累計の通期業績予想に対する進捗率は、売上高で 53.5%、営業利益で 59.5%です。今回、発表しました決算説明資料や説明会動画につきましてはこちらよりご参照ください。

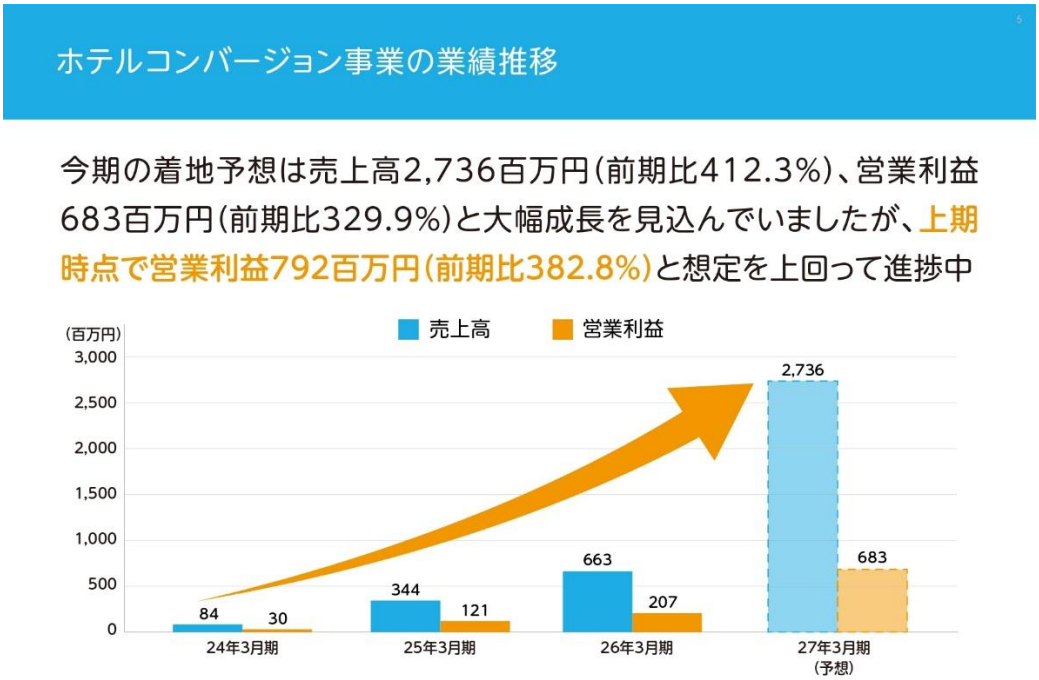
2027 年 3 月期第 2 四半期 エグゼクティブサマリー

1. ホテルコンバージョン事業の 2Q 営業利益は 758 百万円。全社連結の 2Q 売上高は前年同 Q 比 213.7%



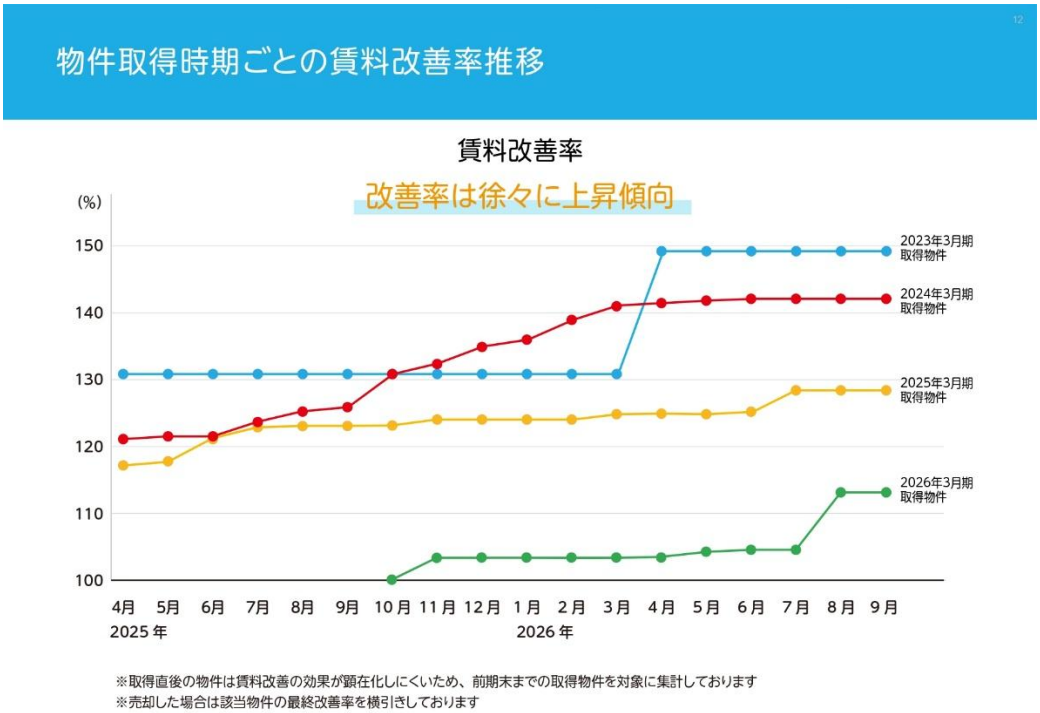
主力のホテルコンバージョン事業で初の物件売却、同事業の 2Q 売上高は 2,184 百万円（前年同 Q 比 1517.9%）、営業利益は 758 百万円（同 1806.0%）となりました。これにより、全社連結の 2Q 売上高は 5,850 百万円（前年同 Q 比 213.7%）と、前年同 Q 比で約 2 倍となりました。なお、他の事業もすべて前年同 Q 比で増収となりました。

2. ホテルコンバージョン事業は、上期時点で今期の当初計画を超過



同事業の上期時点の営業利益は 792 百万円（前期比 382.8%）で、今期の着地予想として見込んでいた営業利益 683 百万円（前期比 329.9%）を、上期の時点ですでに上回っています。

3. 物件価値向上の基礎となる賃料収入が順調に上昇継続



取得した物件のテナントの入れ替わり等による賃料の改善が進んでいます。取得時と比べた 2026 年 9 月時点の賃料は、2023 年 3 月期に取得した物件で約 1.5 倍、2024 年 3 月期取得で約 1.4 倍、2025 年 3 月期取得で約 1.3 倍となり、取得からの経過に応じて賃料改善が進んでいます。

2027 年 3 月期 通期業績予想と 2Q 進捗率について



2Q 累計実績は売上高 9,634 百万円（進捗率 53.5%）、営業利益 361 百万円（進捗率 59.5%）となりました。通期業績予想は、売上高 18,000 百万円（前期比 52.3%増）、営業利益 608 百万円（前期比 2490.4%増）から変更ありません。通期業績予想における営業利益の約 9 割は、メイン事業のホテルコンバージョン事業によるものです。

■ 2027 年 3 月期（第 26 期）第 2 四半期 決算説明資料について

詳細は下記の開示資料をご参照ください。

2027 年 3 月期（第 26 期）第 2 四半期決算説明資料

2027 年 3 月期（第 26 期）第 2 四半期決算データ BOOK

2027 年 3 月期（第 26 期）第 2 四半期事業説明資料

2027 年 3 月期（第 26 期）第 2 四半期決算説明動画

クルーズ株式会社について

『国土の真価を証明し、世界に誇る観光立国へ』をビジョンに、都心のビル資産を、世界をもてなす最高の宿泊拠点へ。私たちは不動産の真価を再発見し、圧倒的な価値を持つホテルへと進化させる、観光立国・ニッポンの一翼を担うべく挑戦する企業です。

https://crooz.co.jp

【本リリースに関するお問い合わせ】

クルーズ株式会社　広報担当：諸戸、松岡

Email： crooz_pr@crooz.co.jp

【 IT 実績と AI で、国家課題を攻略する】

社　名　：クルーズ株式会社

所在地　：東京都渋谷区恵比寿 4 丁目 3-14 恵比寿 SS ビル

設　立　：2001 年 5 月 24 日

資本金　：4 億 6,016 万円（2026 年 3 月末）

事業内容：純粋持株会社として当社グループの経営戦略の立案、及び子会社への投資、経営目標の立案・実行の支援